

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	(769) 8239
担当部課名	経済部	農政	課	農業振興 班
事務事業名	新生産調整対策事業		事業コード	31510

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	12
施策名	第1施策	安定した農業経営の確立	年度

2 実施根拠及び関連法令等

主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律、水田を中心とした土地利用型農業活性化対策大綱、水田農業経営確立対策実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
需要に応じた米の計画的生産と水田における麦・大豆・飼料作物等の本格的生産		相模原市内水田、水田農家	
		対象数	1,172,208㎡ 690件
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> 水田農業経営確立対策実施水田の現地確認(1回、3日間) 相模原市水田農業推進協議会の開催(1回) 		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	相模原市水田農業振興計画
		計画年次	12年度～16年度
		相模原市水田農業振興計画に基づき、転作と水稻作を同時に推進しながら、生産性の高い水田農業経営を確立する。	

4 評価指標

指標名	県からの、米の生産調整目標面積に対する目標達成率		
指標式	生産調整実施面積 / 生産調整目標面積 × 100		
指標設定の意図	生産調整目標面積432,972㎡の達成率により成果を表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	106	104	a 107	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	874	796	861	887	820
	人員・時間数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
	人件費	4,210	4,210	4,210	4,210	4,210
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	5,084	5,006	5,071	5,097	5,030
特定財源	860	796	860	800	800	

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 106.8%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{106.8}{100.0} \times 100 = 106.8\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	平成13年度については、生産者、生産者団体、行政の十分な連携により、目標を達成することができた。		

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	国内産米の在庫状況は過剰傾向にあるため、さらなる生産調整が必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	課の人件費は職員0.5人程度の人件費であるため、費用対効果は妥当と思われる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市と県が十分な連携のもと、実施することが必要である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	生産調整目標面積については達成をされているが、生産調整を実施した農家に対する補助金等の制度への認知度、加入数が低い。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 B ▼	A : 有効である	理由 :	
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 国内産の米の過剰基調が継続しているため、生産調整目標面積に対する達成率をさらに高める必要がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 水田農業経営確立対策に係る経費を圧縮することは困難。

7 総合評価

評価 A ▼		他自治体の類似事業との比較	国の水田農業経営確立対策として統一した事業実施がされているが、市町村の中には独自の補助金制度を実施している市町村がある。
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--